
来る者拒まず去る者追わず

中村ジゴロウ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

来る者拒まず去る者追わず

【NZマーク】

NZ595D

【作者名】

中村ジ'ロウ

【あらすじ】

縁を稚拙に考えて書いてみました。

人の縁といつものほ、不思議なものだ。

おばあちゃんの言葉の受け売りだが、僕の23年の歩みを見てもその通りだと思えるのだからおもしろい。

縁と言つても色んな種類がある。

いい縁もあれば悪い縁もある。

それらはどこでどう繋がるか分からぬし、どこでどう切れてしまうかも分からぬ。

だから、僕は人の縁を考えるのに「来る者拒まず去る者追わず」を採用してくる。

そのよつな考えのもとで繋がる縁はにぎやかで退屈しない。

また類は友を呼ぶのだろう。

気付けば不思議と周りは個性的な人達でいっぱいだ。

このままずっと楽しければいいなと思つ。

しかし、不思議と繋がると同じよつと、不思議と縁は切れてしまつ。

それは、じついらに原因があつたり、向ひに原因があつたり、自然

とやうなつたり、実に様々だ。

切れる縁を考えると、寂しい気持ちになるが、それもまた縁なのだろうと思つ。

切れる縁もあれば繋がる縁もあり。

縁の新陳代謝ではないか。

「来る者招まず去る者追わず」という都合主義な考え方によつて起
こられる縁は急激であり、決して絶えなく、停滞しない。

樂しいことや嬉しいことが起きた思えば、即座に退屈なことや悲し
いことが起きる。

逆もまたしかり。

その度に一喜一憂させられる。

しかし、その縁の流れに身を任せることによって、人といふ生き物
は初めて健全な発達をするのだろう。

と偉そうに言つ僕は賢者ではないので、何の縁が今自分を成長させ
ているのか分からぬが、ある縁による事件が一段落し、次の縁に
よる事件の間に「あの時はおもしろかった」「あの時はつらかった」
「これからどうなる」と考えられる自分に照れ半分で成長を感じる。
縁によつて引き起こされたれこれからまゝ、とんでもない醜い暮らしを
するかもしれないし、混雑を引き起こすかもしない。

けれども、同時にその暮らしが活気が帯びてくるだいじてゐる。

新様式の工夫も起つてゐるだいじ。

栄枯盛衰も現れるだいじ。

そうしてそれがいつて暮らすといつて、また別の縁が生まれてくるだいじ。

「来る者拒まず去る者追わず」は僕の主義であつて、これが常に僕の世に行われるることを祈願するだいじだ。

(後書き)

うーん、カタクルシイゼ WWWWW

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3595d/>

来る者拒まず去る者追わず

2010年10月19日23時21分発行